

事業計画書

平成27年度

施設名 老人福祉センター
横浜市緑ほのぼの荘

指定管理者社会福祉法人神奈川県匡済会

1 施設管理に関する基本方針

- (1) 施設の管理運営について
 - ① 基本理念について
 - ② 予算の執行について
 - ③ サービスのあり方について
- (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について
 - ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
 - ② 地域の高齢者のニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
 - ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携
- (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について
 - ① サービス提供に関する基本的な考え方
 - ② 施設の利用に関する取扱いについて
 - ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
 - ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて
- (4) 施設の経営に関する考え方について
 - ① 本年度の経営に関する基本方針について
 - ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
 - ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて
- (5) 職員体制・情報保持等の考え方について
 - ① 職員の配置及び採用について
 - ② 職員の研修計画について
 - ③ 個人情報保護の措置について
- (6) 緊急時対策について
 - ① 防犯、防災の対応について
 - ② その他緊急時の対応について
- (7) 施設の保全について
 - ① 建物・設備等の保守・点検について
 - ② 清掃業務について
 - ③ 植栽・樹木の維持管理について
- (8) 高齢者への配慮に関すること
 - ① 高齢者の健康づくりや介護予防に対する取組について
 - ② 高齢者の生活相談、健康相談、助言等について
 - ③ 高齢者の仲間づくりを推進するための配慮について

2 自主事業に関すること

- (1) 趣味の教室に対する基本的な考え方
 - ① 趣味の教室について
 - ② 趣味の教室の運営方法について
 - ③ PRの強化について
- (2) 趣味の教室以外の自主事業に対する基本的な考え方
 - ① 自主事業について
 - ② 自主事業の運営方法について
 - ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任

意)で作成をお願いします。)

(1) 年間利用者数増に向けた取り組みについて

(2) 多様な趣味の教室の実施に向けた取り組みについて

(3) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

① 基本理念について

私たち、神奈川県匡済会では、大正7年創設以来の〈基本理念〉に沿って事業運営を行っています。

「あらゆる人の尊厳を守り、
常に人が人として文化的生活を営めるよう、
その自立に向けた支援に努める」

私たち神奈川県匡済会は、下記事業経営〈基本方針〉のもとで、日々の施設運営に取り組んでいます。

- ☆ ご利用者の立場に立った福祉サービスを提供することによって、ご利用者のたくさんの笑顔があふれる匡済会を創り上げる。「この笑顔」を匡済会の職員の喜びとする。
- ☆ 「誠実で、公正な行動」を信念とし、「ご利用者・社会の信頼」を宝とする。
- ☆ 「健全経営」に徹し、ご利用者・ご家族・匡済会職員に対し、継続的経営という責任を果たす。
- ☆ 職員一人ひとりが〈職制・業務〉の枠を越えて、「経営の目的」と「自分の目標」を実現していこうとする「思いと行動」にあふれる匡済会を創る。
- ☆ 職員が互いに、その人間性を尊重し、生き活きと働くことが出来る匡済会を創る。

以上の基本理念・基本方針に基づき、利用者の方に喜ばれ、1日を笑顔で明るく過ごせる施設運営に努めてまいります。

② 予算に執行について

施設運営に関する費用は横浜市民の皆様の血税から支出される、指定管理料によって賄われていることをしっかり認識し、経費削減に取り組みます。また、重要な温暖化対策として、省エネやごみの削減にも、積極的に取り組みます。しかし、その取り組みが、利用者サービスの低下をきたさないよう十分な注意をします。

③ サービスのあり方について

私たちは、利用者の方が1日楽しく安心・安全に利用していただき、「笑顔あふれる緑ほのぼの荘」を合言葉に「緑ほのぼの荘サービス理念」を作成し利用者サービスの向上に努めます。

●緑ほのぼの荘サービス理念

1. 老人福祉センターの役割を正しく認識したうえで、業務遂行に努める。
2. 一人一人の人権を尊重し、利用者の方には等しく公平に接し、親切丁寧に対応する。
3. 施設内の安全確保に努め、利用者の方に安全・安心を提供する。
4. 緑ほのぼの荘を利用して良かった。次もまた緑ほのぼの荘を利用したいと思えるよう公平で笑顔あふれるサービスの提供に努める。
5. 利用者の方をはじめ、地域に愛され親しまれる施設運営に努める。
6. 職員自身が仕事を楽しみ、明るく笑顔で元気良く！

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域の高齢者のニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

① 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

緑ほのぼの荘のある、新治西部・十日市場団地地区は、高齢化率が緑区平均よりも高く、高齢者の方が多い地域ですが、近隣には大学や高校、公共施設も多くあり乳幼児連れの親子や学生などの若い世代の方も往き来する地域です。

高齢化の問題では、一人暮らしの方や引きこもりがちの方、孤独死などの問題があります。

地域との連携をとり、支援活動をおこなうことで、地域とのつながりを持ち拠点として

また、子育て世代の方との交流の場（世代間交流）などの問題を緑ほのぼの荘としてどのように対応すればいいのか？などの問題を併設のケアプラザや図書館、近隣にある緑区地域子育て地域拠点いっぽなどと連携し解決してまいります。

② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

高齢者の社会活動支援のためには、利用者の方や地域の方の要望・ご意見を組織的に集約し、施設運営にどう生かしていくかが重要です。

●地域ニーズの把握

現在、「みどりのわ・ささえ愛プラン第2回地区別計画推進委員会（十日市場団地・新治西部地区）」にオブザーバーとして参加し、また新治西部地区社協会員にもなっております。それぞれの会合などに出席しそこで出た意見や問題点を、緑ほのぼの荘の運営にどう活かせるかをコミスタ会議などの場で話し合いニーズの把握に努めます。また、保健活動推進委員・老人会などの会合などにも出席させてもらい、緑ほのぼの荘に対する要望・ご意見などの聞き取りなどを行ってまいります。

●利用者会議の開催

緑ほのぼの荘では、個人利用者・団体利用者・地域団体からなる利用者会議を開催しており、緑ほのぼの荘の運営に対する要望・ご意見などの聞き取りなどを行い、その要望意見に対し、具体的な対応を実行しています。利用者会議で話し合われた事などは施設広報紙「緑ほのぼの荘だより」や閲覧用ファイルに綴じ利用者の方がいつでも閲覧できるようにしています。

③ 他施設との連携について

緑ほのぼの荘は、「緑区唯一の老人福祉センター」という性格上、緑区内の地域ケアプラザや併設施設の緑図書館・近隣の子育て拠点いっぽ・地区センター・みどり福祉ホームなどと連携を図り、高齢者だけではなく、世代間交流など連携を図ってまいります。また、合同の世代間交流イベントを開催いたします。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

① サービスの提供に関する基本的な考え方

マニュアルだけに沿った形式的サービスだけではなく、人と人とのふれあい・温かみを重視したサービス提供に務めます。その為にも、利用者の方の日々の体調や服装の変化などにも気を配り、声掛けなどを積極的にし、利用者の方がまた緑ほのぼの荘に来たいと思えるように努めます。

② 施設の利用に関する取扱いについて

サークル活動は生きがいがづくり、仲間づくりにつながりますので、老人福祉センターにとって貸室は主要な業務の一つです。部屋の貸し出しにあたっては公平性を保ち多くのサークルの方に利用いただけるよう努めてまいります。また、当日に空き部屋などがある場合には当日貸出などの柔軟な対応をいたします。

③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

高齢者の方への、生きがいがづくり・仲間づくりの場や情報の提供は、老人福祉センター主要な業務の一つです。そこで、緑ほのぼの荘では、高齢者の方に対しての場・情報・助言などに次のような取り組み・配慮を行っています。

●ふれあいサロン

大広間でのカラオケなどではなく、施設で読書や書き物、おしゃべりなどを楽しみたい個人利用者の方向けに和室をフリースペースとして開放いたします。

●個人へのサークル紹介

緑ほのぼの荘を利用し活動するサークルの方には、団体登録時に、その団体に興味を示した方へ、連絡担当者の方の個人情報（担当者名・電話番号）を教えて良いかの確認を取り、許可の出たサークルのみ団体登録申込書にその旨を記載し、興味のある方への情報提供をしております。

●作品展示場所の提供

作品づくりなどのサークル活動や個人で活動されている方々の成果の発表の場として、2・3階廊下壁面・3階ショーケースを展示場所として開放します。

●団体広報スペースの提供

1階ロビーに情報スペースを作り、緑ほのぼの荘で活動するサークルやこれからサークルを立ち上げる方、地域で活動するサークルの会員募集や広報のチラシを掲示する場を併設のケアプラザと共用で提供いたします。

④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

利用者の方からの各種ご提案やご意見などは、健全な施設運営を行う上で利用者の方から、お寄せいただく貴重なご意見です。施設に寄せられた、ご意見やご提案には速やかに回答し利用者の皆様にお知らせいたします。

また、利用者の方への情報提供は、広報紙や利用者会議・法人ホームページを活用し積極的に開示してまいります。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

① 本年度の経営に関する基本方針について

緑ほのぼの荘は、同一法人が指定管理者となっている十日市場地域ケアプラザとの併設館で事務室を共有しています。そのメリットを最大限生かし、資源の有効活用を図ることが重要ですので、管理面・運営面など多岐に渡り連携を図ってまいります。施設運営に関する費用は横浜市民の皆様の血税から支出される、指定管理料によって賄われていることをしっかり認識し、経費削減に取り組みます。また、重要な温暖化対策として、省エネやごみの削減にも、積極的に取り組みます。しかし、その取り組みが、利用者サービスの低下をきたさないよう十分な注意をします。

また、利用者増に向けて、新規事業への取り組みや趣味の教室などを積極的にアピールしていきます。さらに世代間交流なども行い、利用者の満足度アップを目指します。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

緑ほのぼの荘では、併設施設と協力し利用者サービスを向上させた上で経費削減に努めます。

1. 利用者の方に提供する湯茶サービスで発生する茶がらをコンポストで処理し、ケアプラザと合同で年間約700キロのごみの削減に努めます。また、コンポストで処理したものは施設庭園部分の堆肥として利用いたします。
2. パソコンやAEDなどのリース契約や、印刷機・コピー機などの事務機器、事務用品等をケアプラザと共同購入、共同利用いたします。
3. 不要な照明の消灯を徹底し、エアコン温度も外気温に合わせこまめに調整し省エネを図り電気使用量を平成22年度比でマイナス10%になるよう取り組みを行います。
4. 3階娯楽コーナーに自動販売機を設置し、収入の確保及び利用者の利便性の向上を図ります。
5. 100万円を超える契約は、入札によって業者選定を行い、公正とコスト削減を図ります。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

ごみの資源化・減量化を利用者の方にも協力をいただき進めてまいります。施設で発生するお茶がらを、屋上にありますコンポストで堆肥化を図り、庭園部分の肥料としております。このコンポストで併設のケアプラザと合同で年間700キロ程度のごみの削減になります。

また、電気使用量は、平成22年度比でマイナス10%を目標値と設定し、不要な照明の消灯、グリーンカーテンを設置し、遮光効果、冷却効果で空調の温度管理に努め電気使用料の削減に努めます。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

① 職員の配置及び採用について

●職員の採用について

老人福祉センターの主な業務は、利用者の方が楽しく過ごせるためのサービスの提供であり、これを担うのがコミュニティスタッフです。コミュニティスタッフは老人福祉センターの顔であり、高い資質が求められます。こうした観点から、協調性・責任感及び人柄などに視点をあて緑区内から一般公募し採用いたします。

●職員の配置計画

緑ほのぼの荘は、所長1名・事務担当職員1名とコミュニティスタッフ18名の職員総数20名で構成し、午前午後とも、5名体制で対応します。

② 職員の研修計画

利用者の方に安心・安全に1日を楽しく過ごしていただくために、職員の資質の向上を図ることは、重要な課題の一つと考えています。

●採用時研修

採用時には就業前研修として法人理念・接客マナー・個人情報保護・実務研修を行います。

●人権研修

神奈川県匡済会の基本理念の人権尊重の精神にのっとり、毎年、人権研修を行います。

●救命研修

利用者の方には、体調不良を押して施設に来られる方や転倒などにより怪我をされる方もおります。その際の被害を最小限にするための、毎年救命研修（AED使用法を含む）を行います。

●他施設視察研修

よりよいサービス提供を目指し、優良な他施設視察研修を実施します。

③ 個人情報の保護の措置について

個人情報は、利用者の方からの大切な預り物です。お預かりしている個人情報は適切に管理し施設の管理運営以外の目的には使用しないことはもとより、決して個人情報が流失しないように万全の管理体制で保護に努めます。また、毎年行う個人情報保護研修では、職員全員が「個人情報保護チェックリスト」により現状の確認・問題点の確認を行ってまいります。

●個人情報保護マニュアルを作成し、マニュアルにそって個人情報を管理する。

●個人情報は、鍵付きの書庫で管理する。使用後は速やかに鍵付きの書庫に戻す。

●個人情報を含むファイルは、印を付け他のファイルと区別する。

●個人情報をお預かりする際は、必要最低限の個人情報にとどめる。

●個人情報は、原則事務所外に持ち出さない。

●毎月末には、ファイルごとのお預かりしている個人情報件数を把握し記録をします。

●利用者の方の個人情報の問い合わせには、事前に本人の了解が得られている場合を除き、原則応じない。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

① 防犯、防災の対応について

利用者の方の安心・安全の確保ために、緑区役所や消防・警察や地元自治会・老人クラブなどと連携を図り、防犯・防災対策の徹底を推進します。

●防犯について

- ・緑ほのぼの荘は、図書館・ケアプラザとの3館複合館です。夜間などは、職員が不在になりますので、機械警備により職員不在時の防犯対策を行います。
- ・3館で随時話し合いを行い、館内の不審者や防犯情報の共有化を図ります。
- ・3館の複合館という性格上、様々な方が来館されますので、来館者への挨拶・声かけを徹底して行います。
- ・職員が随時館内の巡回に当たり、不審者・不審物などの対応を行います。
- ・開館中の空き部屋・非常口を常に施錠し、職員の見回り時にチェック表を基に施錠などの確認を行います。

●防災について

- ・災害時には緊急時マニュアルにそって対応いたします。
- ・年2回、図書館・ケアプラザ・老人福祉センター3館で火災や地震などの際の避難誘導・消火などの防災訓練を合同で行います。
- ・法人防災プロジェクト作成の防災計画・避難誘導計画・訓練計画を全職員で共有化し、防災訓練や避難誘導訓練の際に役立てます。
- ・台風や大雨・地震などの際は情報の収集を行い、利用者の方に随時提供いたします。
- ・施設内事故発生などの緊急時は、適切で正確な情報を利用者の方に随時提供いたします。

② その他、緊急時の対応について

●緑ほのぼの荘は、災害時の特別避難場所に指定されており、緑区とも「災害時等における施設利用の協力に関する協定」を結んでいます。また、健康福祉局より応急備蓄物資の納入を受け、災害時応急物資の備蓄を行っています。災害などの発生時には、マニュアルに沿って職員を招集し対応いたします。また、緊急の要員応援についても、神奈川県匡済会本部の支援にて対応を行います。

●図書館・ケアプラザ・老人福祉センター緊急連絡網・緑ほのぼの荘職員緊急連絡網を整備し、緊急時に備えます。

●設備の故障などのトラブルに備え、緊急時マニュアルを整備しています。

●ケアプラザと共同で、AEDを整備しています。

●利用者の体調の変化・転倒による怪我等の発生に備えての対応として、職員全員にAEDの使用方法を含めた救命講習受講を義務づけています。また、救急車到着までの対応は、併設のケアプラザ看護師が対応する仕組みを作っています。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

① 建物・設備等の保守・点検について

施設の保守点検は、入札で決定した専門業者に委託し、空調・消防・自動・エレベーターなどの保守点検をしています。また、午前・午後のスタッフによる施設内巡回の際には、「緑ほのぼの荘点検表」に基づき設備・備品の点検を行います。

なお、発見された不具合や故障などは、修繕可能な個所においては早急な修繕を行います。

② 清掃業務について

清掃業務については、専門の業者により廊下・トイレ・ロビー・エレベーターなどの利用者スペースの日常清掃・毎月の休館日に行う定期清掃を通じて施設美化に努めています。

また、スタッフによる施設巡回時においても汚れやごみなどのチェックを行い、清掃などをし、利用者の方に不快感を与えないよう施設内美化に努めます。

③ 植栽・樹木の維持管理について

専門業者により、年2回の樹木の剪定・除草・害虫駆除を行います。

また、随時スタッフにより除草・剪定などを行い、美観の維持に務めます。

1 施設管理に関する基本方針

(8) 高齢者への配慮に関すること

- ① 高齢者の健康づくりや介護予防に対する取組について
- ② 高齢者の生活相談、健康相談、助言等について
- ③ 高齢者の仲間づくりを推進するための配慮について

① 高齢者の健康づくりや介護予防に対する取組について

健康で明るく楽しい生活を送りたいと願う高齢者にとって、年齢による体力の低下などが大きな障害になっています。だからこそ、高齢者の、健康に対する意識は大変高く、強い関心を持っています。

高齢社会が進むなかで、老人福祉センター役割はますます重要になってきています。老人福祉センターとして利用者の方、地域の方のニーズをアンケートや聞き取り調査によりの確にとらえ、利用者の方の健康づくり・介護予防に取り組んでまいります。

●健康運動教室の後援

機能回復訓練室を利用し活動している「健康運動教室みどり」は会員数が80名を超える大変人気のある教室です。教室設立の平成9年当時より教室運営に関する協力や広報活動などを施設として行っています。

●介護予防教室自主サークル化の援助

併設のケアプラザで行っている介護予防教室の自主サークル化の際の活動場所の提供や団体運営に関するアドバイスを行っています。

●自動血圧計の設置

高齢者の方は、高血圧に悩む方が多いです。そこで開館中にいつでも血圧測定ができるように自動血圧計を設置しています。2階ロビーに設置しケアプラザや図書館利用で来た方も利用できるようになっていました。

●積極的な声かけ

利用者の方に笑顔で積極的に声をかけ、また緑ほのぼの荘に来ていただけるように努めております。緑ほのぼの荘に頻繁に来館することによるウォーキング効果、スタッフや他の利用者の方とのお話しやカラオケ・囲碁・将棋をすることによるストレス解消や脳の活性化などにつながります。

② 高齢者の生活相談、健康相談、助言等について

●健康相談の実施

地元の医師の協力により月1回行っています。その内容は、疾病に関する相談や病院での検査結果の相談などです。医師の来る日以外は、併設のケアプラザ包括支援センターの看護師の協力を得て、相談に応じています。

●生活相談・助言など

日々、利用者の方からは様々な相談が寄せられます。そのため、相談日は特定せずに随時相談に応じております。相談はプライバシーに関係する内容が多いため、生活相談室にて行います。相談の内容は友人や仲間との人間関係に関すること、住居・介護保険など多岐に渡っていますので、相談の内容によっては区の担当課やケアプラザなどの関係機関と連携をとり相談に応じます。

③ 高齢者の仲間づくりを推進するための配慮について

利用者の方の仲間づくりは健康の増進や介護予防にもつながりますので、積極的に仲間づくりの場の提供やきっかけづくりに努めてまいります。そのためにも、利用者の方への声掛け・サークル結成の手伝い、趣味の教室OB会への部屋の優先予約などを行います。

2 自主事業に関すること

(1) 趣味の教室に対する基本的な考え方

- ① 趣味の教室について
- ② 趣味の教室の運営方法について
- ③ PRの強化について

① 趣味の教室について

1. 趣味の教室の基本的考え方

趣味の教室は、老人福祉センターの主要な自主事業です。区の広報紙や区内の地域ケアプラザ・市民活動支援センターなどにチラシを置いていただき、大々的に広報がされるため、多くの方に緑ほのぼの荘を知っていただく機会にもなりますので、自主事業の主軸に据え、特に力を入れて取り組んでいく必要があります。

2. マンネリ化の防止

趣味の教室は、多くの方に参加していただくためにも、マンネリ化の防止が必要です。そのために、趣味の教室に関するアンケートを教室終了後に行い、利用者の方のニーズ・変化を把握し利用者の方の関心の高い教室を取り入れ、趣味の教室のマンネリ化の防止いたします。

② 趣味の教室の運営方法について

より多くの方の生きがいがづくり・仲間づくりのためにも趣味の教室終了後のOB会結成に協力します。

また、教室参加者の方にアンケートを行い、利用者の方のニーズの把握や満足度アップに務めます。

③ PRの強化について

趣味の教室の広報活動は、一人でも多くの方の生きがいがづくり・仲間づくりのために必要なので特に力を入れる必要があります。

そのためには、広報緑区版に掲載や区内のケアプラザや市民活動支援センター・区役所などにチラシを置いてもらい、また、地域の地域情報紙や広報緑区版などを活用し、また近隣の介護保険事業所などにも出向き、多くの方が趣味の教室を知っていただくように広報活動に務めます。

2 自主事業に関すること

(2) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

① 自主事業計画について

自主事業は、利用者にとって、新たな生きがいつくり・仲間づくり・健康づくりに、非常に効果のあるものです。その内容・広報・スケジュール化は、老人福祉センターの重要な課題であると認識していますので、特に力を入れて行ってまいります。

② 自主事業の運営方法について

緑ほのぼの荘で主催する自主事業は、原則無料で行い、原材料費のみの自己負担とします。理由は、老人福祉センターの設置目的から、利用者の方の負担を求めずに、より多くの高齢者の方に、緑ほのぼの荘を利用していただく環境を作るべきだと考えるからです。

また、自主事業に参加していただいた方にアンケート調査をお願いし、ニーズの把握や満足度アップに務めます。

③ PRの強化について

自主事業の広報活動は、一人でも多くの方の生きがいつくり・仲間づくりのために特に力を入れる必要があります。

そのためには、広報緑区版に掲載や区内のケアプラザや市民活動支援センター・区役所などにチラシを置いてもらい、地域新聞や広報緑区版などを活用し、また近隣の介護保険事業所や地域の行事などにも出向き、多くの方に自主事業を知っていただくように広報活動に務めます。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

(1) 年間利用者数増に向けた取り組みについて

(2) 多様な趣味の教室の実施に向けた取り組みについて

(3) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1) 年間利用者数増に向けた取り組みについて

利用者数の増加は、指定管理者の使命として重要と考えています。そのために以下のことに取り組んでまいります。

- ① 利用者の方のニーズ把握のためにアンケートや聞き取りを積極的に行います。
- ② 一人でも多くの方の健康の増進・仲間づくりに役立つ事業を行ってまいります。自主事業として健康講座を開催いたします。(年4回予定)
- ③ 区内のケアプラザや介護保険事業所などを回り、介護保険適用者の方にも緑ほのぼの荘を利用していただくために緑ほのぼの荘のアピールを行います。
- ④ 利用者の方や地域の方に喜ばれる、イベントや事業を行ってまいります。併設館3館合同のイベントを開催いたします。(毎年2月バザーフェスタ)
- ⑤ 近隣のスーパーや病院・有料老人ホームなどにチラシなどの掲示を依頼し、新たな利用者の掘り起こしにつなげます。

(2) 多様な趣味の教室実施に向けた取り組みについて

趣味の教室は、利用者の方の生きがいづくり・仲間づくりにもつながる事業です。そのために以下のことに取り組んでまいります。

- ① 利用者の方のニーズ把握のためにアンケートや聞き取りを積極的に行います。
- ② 利用者の方の希望の高い教室を開講します。利用者アンケートを取り、利用者ニーズを把握し、新規に教室開講をいたします。
- ③ 新規の教室開講の際には、市民活動支援センターのちょっと先生や、地域の方に講師をお願いしていきます。
- ④ 積極的な広報活動を行い、一人でも多くの方が参加できるように活動してまいります。

(3) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

提案内容の達成のために以下のことに取り組んでまいります。

- ① 施設の中で待つのではなく、地域に積極的に向き、今まで交流の無かった方々にも施設をアピールし、より多くの方の利用を促進いたします。
- ② 利用者会議やアンケート・投書箱などに頂いた、ご意見などをもとに改善していきける施設を目指します。
- ③ 高齢者同士の交流はもちろん、地域ケアプラザの運営も行っている利点を活かし、地域の子育て拠点や小学校などとの世代間交流を行い、高齢者の方の「楽しみ・元気・笑顔」をもっと作ってまいります。

自主事業計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
詩吟(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
太極拳(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
折り紙(趣味の教室)	60歳以上の方	74,316	74,316	0	66,816	0	7,500
	10名						
	0円						
書道(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
水彩画に役立つ 鉛筆デッサン(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	14名						
	1100円(講師から直接買取)						
ペン習字(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
俳句(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
英会話(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
編み物(趣味の教室)	60歳以上の方	74,316	74,316	0	66,816	0	7,500
	15名						
	0円						
民謡(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	1000円(講師から直接買取)						
絵手紙(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	0円						
源氏物語(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	1028円(講師から直接買取)						
合 計		1,634,952	1,634,952	0	1,469,952	0	165,000

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
水引き(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	500円(講師から直接買取)						
つるし雛(趣味の教室)	60歳以上の方	148,632	148,632	0	133,632	0	15,000
	15名						
	700円(講師から直接買取)						
新舞踊・新民謡(趣味の教室)	60歳以上の方	74,316	74,316	0	66,816	0	7,500
	15名						
	0円						
合 計		371,580	371,580	0	334,080	0	37,500

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
団体発表会	60歳以上の方	30,000	30,000	0	0	10,000	20,000
	20団体						
	0円						
演芸大会	60歳以上の方	50,000	50,000	0	0	20,000	30,000
	60名						
	0円						
健康相談	60歳以上の方	239,800	239,800	0	214,800	10,000	15,000
	50名						
	0円						
世代間交流(年2回)	高齢者と子育て世代	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	50名						
	0円						
ウォーキング講座(年2回)	60歳以上の方	30,000	30,000	0	10,000	10,000	10,000
	30名						
	0円						
ふれあいサロン	施設利用者	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	毎週10人						
	0円						
お散歩de楽習講座(年2回)	60歳以上の方	25,000	25,000	0	5,000	10,000	10,000
	15名						
	0円						
和紙ちぎり絵講座	60歳以上の方	43,000	25,000	18,000	5,000	28,000	10,000
	15名						
	1200円						
健康講座(年4回)	60歳以上の方	100,000	100,000	0	20,000	40,000	40,000
	30名						
	0円						
デジカメ講座	60歳以上の方	25,000	25,000	0	5,000	10,000	10,000
	15名						
	0円						
エコバック講座	60歳以上の方	25,000	25,000	0	5,000	10,000	10,000
	15名						
	0円						
手芸講座	60歳以上の方	30,000	30,000	0	10,000	10,000	10,000
	15名						
	0円						
合 計		637,800	619,800	18,000	274,800	178,000	185,000

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
美味しいお茶の淹れ方講座	60歳以上の方	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	30名						
	0円						
和菓子講座	60歳以上の方	29,500	25,000	4,500	5,000	14,500	10,000
	15名						
	300円						
20周年記念イベント	施設利用者	100,000	100,000	0	20,000	70,000	10,000
	500名						
	0円						
20周年記念イベント みなとの横浜建築講座	60歳以上の方	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	30名						
	0円						
スマートフォン、タブレット講座	60歳以上の方	20,000	20,000	0	0	10,000	10,000
	15名						
	0円						
合 計		189,500	185,000	4,500	25,000	114,500	50,000

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味の教室 詩吟	詩吟は、詩文の素読（朗読）の後に特有のメロディ（節調という）を加えて詩情を表現する歌い方です。 詩吟のいろはを学ぶだけでなく、発声や良い姿勢を伴うので健康増進にもつながります。 詩は主に漢詩、俳句、和歌、今様を用います。	4～9月 10月～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 太極拳	ゆっくりとした動きと深い呼吸が特徴の太極拳は、高齢者でもすぐ始められる手軽な健康法です。 慢性胃炎や便秘の改善、肩こりや腰痛の緩和等のほか血圧低下の効用があるといわれています。 太極拳を習うことで、足腰を強くし、転倒予防や病気の治療・予防につながります。 精神の安定や練習を通じて、仲間との交流等、健康づくりとともに生きがいを図っていきます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 折り紙	折り紙は日本伝統の遊びです。一枚の紙できれいな花やかわいい動物などを折りだせます。たくさんの人に親しまれています。 作品を作り上げたことへの達成感や指先を使うことにより、脳の活性化にも役にたっています。	4～9月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味の教室 編み物	糸・編み針のシンプルな道具と、編み図による法則に沿った手仕事です。 編み方の基本を学習し、ひたすら編む作業は、頭も指も使います。	10～3月 年1回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味の教室 水彩画に役立つ 鉛筆デッサン	身近な物を絵にすることで、何かに気づき、新しいものが見え、物を深く観察するようになります。 絵を描く基礎であるデッサンは、初心者のもので見方や描き方を習得することで、様々なものが描ける喜びをみつけられます。 陰影のつけ方や遠近感、水彩画を描く上で役立っていきます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 ペン習字	気軽に始められるとともに、実生活にその成果が現れるため、人気の講座の一つです。 ペン習字は、サインペンを使って様々な日常生活の中で使用する文字を、美しくバランスよく書くコツを身に付ける講座です。 美しい字を書けることによって自信にもつながっていきます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 俳句	俳句は、四季折々の季語を使い17文字にこめる世界で一番短い詩です。 季語や音韻を使うことにより、四季の美しさを感じ、受講者の感性で様々な作品を作りあげることが出来ます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 英会話	国際都市横浜で、訪れた外国人や地域在住の外国人とコミュニケーションを交わすことが出来れば、受講者の世界も大きく広がります。 基礎的な英会話を学ぶことで、日常や実生活に役立てていただきます。	4～9月 10～3月 年2回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 書道	書道は、書けば書くほど楽しくなっていくものです。上手い下手は関係なく、かしこまらずに自分の感性を生かさせます。正しい姿勢で、集中することにより精神を落ち着かせることにもなります。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 民謡	民謡の多くは、楽譜がなく、拍子も不規則で、口伝えで歌われています。また、詩は、地方独特の心打つ内容をもっています。 日本の伝統文化に根付いた「味」を体感することも出来ます。 また、歌うことや呼吸により、健康増進を図ることもできます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 絵手紙	絵手紙は「こころを相手に伝えるもの」。 相手の方へ手紙を書こうという思いから、文だけでは語り尽くせないものを絵にすることで、描いた人のあたたみや心情、心境をよりダイレクトに表すことができます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 源氏物語	源氏物語は平成時代中期に成立した日本の長編物語です。朗唱を堪能し美しい古語の響きと溢れる気品を聴くことで、作品の理解を深め楽しみと広がってくれます。	4～9月 10～3月 年2回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味の教室 水引き教室	室町時代に端を発する水引きは、今でも慶弔事を飾るものとして重宝されています。 亀や鶴、花飾りは、水引細工の代表例ですが、根付けなど簡単なものから封筒の織り方、紐の結び方を学びます。 細やかな作業ですが、指を動かすため、脳の活性化にもつながります。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味の教室 つるし雛教室	伊豆稲取に江戸時代から伝わる風習で、桃の節句に娘に無病息災、良縁を願って端布を使った手作りのぬいぐるみを飾ったつるし雛を作ります。 手先を使うことで脳の活性化を図り、また作品を作り上げた達成感も味わうことができます。	4～9月 10～3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新舞踊・民謡踊 趣味の教室	庶民文化から生まれた新舞踊。日本の良き伝統を生かしつつ、より現代的に誰もが気軽に取り組む事の出来る新しい舞踊です。 礼儀作法が身につき、着物を身に着けることで姿勢が良くなり、表現力も養われます。	4～9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
特別講座 ちぎり絵教室	日本の伝統文化である和紙を素材とし、ちぎる、切る、貼るといった手法で制作していきます。初めての方でも基礎から学ぶことができ、また指先を動かすため脳の活性化にもつながり、健康に役立ちます。	12月初旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 和菓子講座	和菓子はお菓子であるとともに、指先で仕上げる芸術品でもあります。 自治会で活動されている主婦を講師に迎え、主婦目線で簡単かつ美しい和菓子を作ることで、生活に潤いを感じてもらいます。	3月初旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 デジカメ教室	初めての方でも楽しく簡単に出来る撮影テクニックを学びます。 機種は異なっても基本的な機能の操作や少し工夫をするだけで鮮やかできれいな写真が撮れる操作を学習します。	6月上旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 健康教室	多くの方が抱えている身体の悩み。身体のしくみを学び、体操を取り入れ、予防、解消に役立ちます。 本年度は、「筋肉」に焦点を当てた講座を行います。	5月 9月 11月 2月 年4回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
特別講座 美味しいお茶の 淹れ方	美味しいお茶の入れ方を学ぶことで知識と教養を養います。 また、地域の茶舗の店主を講師に招くため、気軽に地域の店舗に足を運べる環境づくりにも貢献します。	5月中旬 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
特別講座 手芸	連続講座では完成しない手芸品を1回で完成させる事業。 達成感が味わえるだけでなく、手芸品なので実生活でも身に着けられます。	8月上旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 スマートフォン、 タブレット	高齢者の調べる能力を向上を目的として、携帯端末の操作を学習します。 今や、高齢者も携帯端末を利用するため、活動される方が多く存在します。 情報収集能力を養うことで、実生活における心の豊かさを育成します。	9月上旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 お散歩de楽習	対象となる場所の学習と現地を散歩することで実物を体感する反復学習プログラムです。 ねらいは、事前学習において、対象を通して知識を習得や調べる能力を養うこと、現地では、実物を目の当たりにして体感してもらうこと、学習が家族(3世代)や友人に対して教え伝えられる立場に慣れることを目指しています。 今回は、「ズーラシア」がテーマです。	6月上旬 年1回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 みなとの歴史的 建築	開館20周年記念事業。 お散歩de楽習の番外編として実施するもの。 当館職員が講師を務め、みなと横浜の発展に寄与した歴史的建築を紹介するとともに現在の横浜の発展をたどりま す。 また、受講者が横浜を回想することで、自身を振り返って もらう一助となることを期待します。	5月中旬 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 エコバック	開館20周年記念事業。 エコバックを製作し、当館や十日市場周辺を持ち歩いてい ただくことで、製作の楽しさと周知を図る。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 世代間交流	併設のケアプラザと地域子育て拠点「いっぽ」、緑図書館 と共催し、音楽、お話し、パフォーマンスによる高齢者・ 地域・幼児の交流会を実施します。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 20周年記念	十日市場に緑図書館・ケアプラザ・ほのぼの荘の3施設が 開館して平成27年5月に20年を迎えます。たくさんの 利用者やボランティアさんとともに歩んだ20年に感謝し て、合同で開業記念イベントを行います。	11月23日 1回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいサロン	地域の独居高齢者やカラオケなどが苦手な静かに過ごしたいなどの要望を持った利用者のために開設しました。和室にテレビや本を設置し、談笑や書き物などができ高齢者の仲間づくりや生きがいをづくりの場にしてあります。	毎週日曜日 年52回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康相談	高津内科医院 高津先生に依頼し月に1回健康相談をしています。血圧測定や利用者の疑問、質問にも答えています。	月1回 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
緑ほのぼの荘まつり 演芸大会	年に1回、日頃の練習の成果を発表します。午前30曲、午後30曲と歌あり、踊りあり、またスタッフによるお楽しみ演目もあります。利用者の意欲向上や仲間づくりなどを目標としてあります。	2月第2土曜日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
緑ほのぼの荘まつり 団体発表会	趣味の教室や一般団体の受講者が、日頃の練習の成果を発表します。受講者同士、他の教室受講者との交流の場とし、仲間づくりや生きがいをづくりに役立っています。また、作品展示は1ヶ月間展示しており、3月から申し込みが始まる「趣味の教室」に申し込みに来られる利用者の方の参考にもなっております。	2月第2日曜日 年1回

自主事業別計画書

施設名 老人福祉センター横浜市緑ほのぼの荘

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特別講座 ウォーキング	併設施設のケアプラザと共催して高齢者が自然を楽しみながらの運動し、心肺機能を無理なく高め、脳の働きを活性化させ老化防止にも最適です。	5、11月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

